

# 貸 借 対 照 表

(2020年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
流動資産	743,055	流動負債	975,447
現金及び預金	128,957	短期借入金	150,000
売掛金	340,166	関係会社短期借入金	104,035
前払費用	210,481	未払金	504,497
その他	63,471	前受金	201,721
貸倒引当金	△20	未払消費税等	7,559
		未払法人税等	0
固定資産	349,144	その他	7,632
有形固定資産	0		
その他	0	<b>負債の部合計</b>	<b>975,447</b>
無形固定資産	349,144	<b>純資産の部</b>	
のれん	348,880	株主資本	116,752
その他	264	資本金	10,000
投資その他の資産	0	資本剰余金	767,484
その他	0	資本準備金	10,000
		その他資本剰余金	757,484
		利益剰余金	△660,731
		その他利益剰余金	△660,731
		繰越利益剰余金	△660,731
		<b>純資産の部合計</b>	<b>116,752</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>1,092,199</b>	<b>負債の部及び純資産の部合計</b>	<b>1,092,199</b>

# 個別注記表

## 1. (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### (1) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産・・・・・・・・・・定率法によっております。

#### ②無形固定資産

自社利用のソフトウェア      ウェブを利用したサービス提供に係るものについてはライフサイクルに基づく償却方法  
(見込利用可能期間2年)によっております。

また、その他の自社利用ソフトウェアについては定額法(見込利用可能期間5年)  
によっております。

販売用のソフトウェア      販売見込収益に基づく償却方法(但し、残存有効期間に基づく均等配分額を下限とする)  
によっております。

### (2) 引当金の計上基準

①貸倒引当金・・・・・・・・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、  
貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能額を勘案し、  
回収不能見込額を計上しております。

### (3) その他計算書類を作成するための基本となる重要な事項

#### ①消費税等の会計処理の方法

税抜方式によっております。

#### ②外貨建資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、  
換算差額は損益として処理しております。

## 2 (株主資本等変動計算書に関する注記)

発行済株式	当期首株式数	当期末株式数
普通株式	278株	372株
合計	278株	372株

## 3 (1株当たり情報に関する注記)

一株当たり純資産額	313,852円00銭
一株当たり当期純損失(△)	△2,188,685円82銭